

福岡市文化賞功績調書

* 部 門 能楽	
氏名	生年
たくしま としゆき 多久島 利之	昭和22年（79歳）
職 業	能楽師
<p>福岡市早良区在住。</p> <p>観世流シテ方能楽師（準職分）。平成3年、重要無形文化財総合保持者認定、公益財団法人能楽協会九州支部所属。</p> <p>幼少期より能に親しみ、6歳の折、^{くらまてんぐ}「鞍馬天狗」で初舞台を踏む。昭和37年、大阪大槻家へ内弟子入門し、昭和47年に独立。</p> <p>昭和51年、29歳で^{どうじょうじ}「道成寺」を^{ひら}披く※。その後^{あたか}「安宅」、^{きぬた}「砧」、^{そとぼこまち}「卒都婆小町」等の大曲^{ひら}を披く。</p> <p>平成8年には、「住吉神社能楽殿」の保存活用のため、福岡市能楽協議会設立に尽力する。また、父^{しゅうふうかい}利吉と「多久島嘯風会」を主宰し、たゆまぬ修練の発表の場として、毎年大濠公園能楽堂で「春の会」「秋の会」を開催。次女法子と「能に親しむ会」を九州各地で主催するなど、福岡市を拠点に能楽分野の普及・発展に尽力している。</p> <p>※「披く」…能楽師が、大曲や難曲をはじめて演ずること。</p> <p>【受賞歴】</p> <p>平成19年 佐賀県芸術文化賞受賞</p> <p>【主な役職歴】</p> <p>平成8年 福岡市能楽協議会 委員</p> <p>平成22年 能楽協会九州支部 支部長</p> <p>平成28年 能楽協会九州支部 常議員</p>	